

不適合情報

2018年9月5日(水)にパフォーマンス向上会議で確認した不適合事象は、下記のとおりです。
 なお、パフォーマンス向上会議で確認した事象の内容から、審議時点で想定する対応(点検、修理、調査等)などを付記しております。

◆ 不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。
 法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

不適合グレードについては以下のURLをクリックしてください。

<http://www.tepco.co.jp/kk-np/data/inside/pdf/image1.pdf>

1. G I グレード 0件

2. G II グレード 1件

NO.	号機等	不適合事象	原子炉安全の観点から見たグレード
1	5号機	海水熱交換器建屋地下1階(非管理区域)での原子炉補機冷却海水系の水抜き作業時、同建屋地下2階(非管理区域)の床に設置している排水設備より海水(約300リットル)が漏れていることを確認した。水抜き弁を閉操作し海水の漏えいは停止、排水処理および清掃を実施済み。当該事象の原因を調査。 【2018年9月4日公表済み】 http://www.tepco.co.jp/kk-np/data/press/pdf/2018/30090401p.pdf	G III 以下

3. G III グレード 6件

NO.	号機等	不適合事象	備考
1	2号機	原子炉建屋付属棟スチームドレン排水槽ポンプ(C)に汲み上げ不良を確認した。当該事象の原因を調査し点検・修理。	
2	3号機	換気空調系設備の点検時、タービン建屋給気ルーバー室内整流板の落下を確認した。当該板を交換。	
3	5号機	タービン補機冷却海水系ポンプ(C)吐出圧力計の接続部から微量の海水の漏れを確認した。拭き取り実施済み。当該部を点検・修理。	
4	5号機	タービン建屋No. 2天井クレーン走行電動機の点検時、冷却ファン(運転室側)における軸受部の嵌合寸法が管理値を超えていることを確認した。当該ファンを修理。	
5	5号機	タービン建屋No. 2天井クレーン走行電動機の点検時、冷却ファン(反運転室側)における軸受部の嵌合寸法が管理値を超えていることを確認した。当該ファンを修理。	
6	7号機	換気空調補機常用冷却水系補助冷凍機の点検時、凝縮器予備弁から微量の冷媒の漏れを確認した。当該弁を修理。	